

2022年のスタートです！観光の力で東北を元気に！



新年あけましておめでとうございます。

ワクチン接種が進み、コロナ禍も少し落ち着きをみせていたものの、感染再拡大により依然として社会経済に大きな影響が及んでいます。しかしその中でも、東北6県及び新潟県の各地域において、ウィズコロナ、アフターコロナとして社会環境変化をふまえた新しい取り組みが進められております。東観推は、今後も観光の力による東北の活性化に向け、オール東北で広域に連携して活動を展開してまいります。

寅



●一緒に東北を元気にしましょう！

「TOHOKU Fan Club」会員募集中！（会員登録無料） 1月31日まで新規入会キャンペーン実施中！

東観推では、持続可能な東北観光を実現するための活動を一緒に応援してくれるファンの会員組織を12月に新たに設立しました。

会員サービスとして、東北のおすすめ情報やお得な情報をメールや会員サイトでファンにいち早くお届けする他、ファンの方へアンケートのご案内をお届けします。アンケートに回答するとポイントが貯まり、ギフトカードに交換できるほか、東日本大震災の復興支援やSDGsの取り組みを支援する団体へ寄付することができます。

2022年1月31日までに会員登録をし、初回アンケートに回答していただいたファンの中から抽選で100名様にAmazonギフト券1,000円分をプレゼントする新規入会キャンペーンを実施中です。

会員登録がまだの方は、是非この機会に右記特設サイト
(<https://tohokufanclub.com>) から、会員登録をお願いいたします。



※特設サイトはこちらから！



●東北6県+新潟の各地域の取り組みを応援します！

「フェニックスアワード2021」募集中！

東観推では、東北6県及び新潟県の観光に従事いただいている事業者の取り組みを応援し、東北・新潟の観光と地域の発展に寄与することを目的として、東北・新潟に関わる観光振興を通じた地域の活性化に尽力貢献し、その功績が顕著であった団体・個人に対して「フェニックスアワード」として表彰を行っております。

東北6県及び新潟県の観光振興に取り組んでいる企業、団体、個人、どなたもご応募できます。受賞者は、東北観光推進機構理事・監事で構成する「東北観光推進機構選考委員会」で審議し決定され、表彰状と記念品を授与し表彰します。

詳細や応募方法等につきましては、[プレスリリース](#)をご覧ください。

https://www.tohokukanko.jp/lsc/upfile/info/0000/0277/277_101_file.zip

応募期限は1月31日（月）まで！

自薦・他薦は問いません。みなさまのご応募をお待ちしております！

【お問い合わせ先】

一般社団法人東北観光推進機構

総務渉外部 佐々木 TEL:022-721-1291

Base ! TOHOKUモニターツアーを催行しました（12月15日～17日）



東観推の第5期中期計画の6つの基本戦略の中核として掲げている「新しい観光需要の創出」プロジェクト、Base ! TOHOKUで旅行会社・ランドオペレーターを招請し山形県の天童、宮城県の秋保・作並にてモニターツアーを催行しました。

●Base!TOHOKUデスクの視察

宿泊施設のフロントに設置されているQRコードを読み込み、Base!TOHOKU特設サイトの地域ページを閲覧しながらフロントスタッフよりお勧めの観光スポットや体験コンテンツを紹介していただきました。参加した旅行会社の方からは、「行程を変更してここに行きたい！」などの意見があり、人が介在することで旅行者の旅の満足度を飛躍的に向上させる可能性を再認識しました。

●観光スポット・体験コンテンツの視察

天童では書き駒体験、ガイド付き山寺散策、夜は「と横丁」を楽しみ、秋保・作並では新規造成したタクシープランを活用し、秋保神社、ニッカウヰスキーの末公開エリア、定義山での写経体験などを視察していただきました。観光ガイドブックなどには掲載されていない、地域のフロントスタッフだからこそのお勧めの楽しみ方などを盛り込んだことで、「今まではこのエリアでのツアー造成には消極的だったが、必ず商品造成して販売します。」とのお話もいただきました。



【Base!TOHOKUデスク】



【新規造成のタクシープラン】

ILTM Cannes 2021へ出展しました（12月6日～9日）

富裕層向けの商談会であるフランスの「ILTM Cannes2021」に3日間にわたって出展し、東北の観光コンテンツをプロモーションしました。

新型コロナウィルスの影響で、現地開催とオンライン中継を組合わせた開催となり、東北に詳しい現地在住者に現地ブースでの商談を実施してもらうと同時に、東観推職員もオンライン中継にて参加しました。

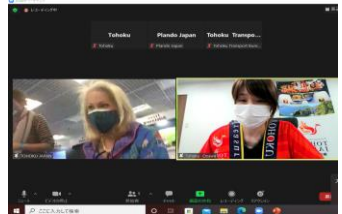
東北広域でみると、桜の時期が長いことや良質なパウダースノーが楽しめることに強い関心が寄せられ、今後の東北観光のプロモーション材料として四季に関わるコンテンツは東北の大きな強みであると感じられました。

また、ロンリープラネット社の「訪れるべき場所ベスト3」に掲載された記事を読んで東北に興味を持ったという現地旅行会社もあり、有力紙の影響を感じました。引き続き、TravMedia等を通じて大手メディアでの露出も図っていきます。

東観推と商談を行った現地在住者からは、ほとんどのバイヤーが東北に関心を示していたとの声を頂き、新型コロナウィルス収束後の訪問先として東北を強く印象づけることができた商談会となりました。



【現地商談会の様子】



【東観推からのオンライン参加】

在日ベトナム旅行会社を招請しました（11月27日～12月2日）

ベトナム市場の団体高所得リピーター層をターゲットに、東北への送客力のある現地ランドオペレーターを6名を招請しました。「東北の自然景観と文化体験・美食旅」を楽しめるエリアとして東北の認知度向上を図り、往来再開後の早期旅行商品造成の促進、インバウンド早期回復を図ることを目的に事業を実施しました。

東北の雄大な自然景観と日本らしさが残る景観は、他の地域に負けない魅力であり、各地域の文化に紐づいた日本料理は、どれも美味しく飽きがこない美食旅であったと多くの招請者からご評価いただきました。

今回の招請者には東北旅行商品の造成経験が豊富な方も多く、既に訪れたことのある場所が多かったため、新しい観光スポットをもっと紹介して欲しいという意見もいただきました。

またベトナム市場は企画募集型の旅行商品が主流という現状があるため、「人気ゴールデンルートからいかにして東北に足を延ばしてもらえるか」ということを念頭に置き、引き続き効果的なプロモーションを実施してまいります。



【大内宿での取材】



【松島散策の様子】

在日欧米メディアを招請しました

●在日アメリカメディアの招請（12月13日～17日）

固有の歴史・伝統文化があり、その一方で手つかずの自然も体験できる魅力的なエリアとしての「東北」を訴求し、更なる認知度向上・誘客促進を図るため、日本在住のアメリカメディア（Sugoi Japan）を招請し、福島県・新潟県・山形県を取材しました。

Sugoi Japan社では各コンテンツの「ストーリー性」を重視しており、特に、新潟の豪商・豪農の館、古町芸妓、山形の出羽三山での山伏修行の3つについては、コンテンツそのものだけでなく、その背景となる歴史や信仰、またそこに関わる「人」に関する取材も行っていました。中でも評価が高かった羽黒山では、山伏体験に加え、雨が上がった後の神秘的な景色を写真に収めることもでき、全てが素晴らしかったとのコメントをいただきました。

今回の取材では、アメリカ市場において求められる、東北の奥深い歴史や豊かな自然に関する取材が十分に行っていただくことが出来、今後、東北の更なる知名度向上が期待できるものと考えます。



【新潟の行形亭での取材】



【山形の羽黒山での山伏体験】

●在日イギリスメディアの招請（12月22日）

日本在住のイギリスメディア（Rough Guide）を招請し、福島県いわき市を取材しました。今回は冬至の日にしか見られない、小名浜鹿島神社の鳥居の真正面から昇る朝日をはじめとする「レイライン※の視点から巡るいわき」というテーマで取材いただきました。

Rough Guide社では今回の招請が始まる前からこの景色の取材を楽しみにされており、鑑賞後も「本当に特別な体験ができる場所」と感銘を受けていた様子でした。他にも、関伽井嶽（あかいだけ）常福寺や波立（はたち）神社の独特な景色に魅力を感じたとのこと。なお、記事化にあたっては、レイラインを紹介しつつも一般的な読者でも理解し、魅力を感じてもらえるような内容の記事を書きたいとお話で、幅広い層への発信が期待できそうです。

※レイライン…古代の遺跡には直線的に並ぶよう建造されたものがあるという仮説における、直線のこと。



【小名浜鹿島神社からの朝日】



【波立神社】

海外富裕層旅行者誘客に向け海外オンラインイベントを実施しました（12月6日）

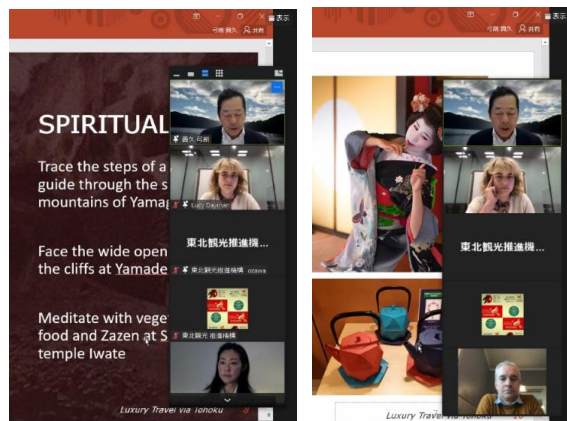
新たな旅行先や観光資源等を海外に発信し、欧・米・豪の富裕層を誘客して消費拡大を図ることを目的として、オンラインイベントを3部構成で実施しました。

1部はインフルエンサー（7名）、2部はメディア（6名）、3部は旅行会社（6名）に参加いただきました。

イベントでは、11月の招請に参加した在日オーストラリア人の方からの美しい写真と記事、映像により東北取材の感動をそのまま伝えていただくなど、東北の魅力を最大限に伝えることができました。参加者からの質問にはZOOMのチャット機能を活用して素早く回答するなど、途切れなく進めることができました。

まだ東北を知らないイベント参加者に対し東北のイメージを膨らませるとともに、東北に行ってみたいと思っていただくことができました。

引き続き、海外の富裕層旅行者に東北の魅力を強く印象づけ、訪日旅行再開に向けた取り組みを進めてまいります。



【オンラインイベントの様子】

インフルエンサーを招請して東北の魅力を発信しています (12月20日～12月21日)

ムスリム市場を対象に、現地に影響力のあるインフルエンサーを招請して情報発信してもらうことで、東京オリンピック・パラリンピックや東北DC終了後の継続的なインバウンド誘客を図ることを目的として実施しました。

今回は約11万人のフォロワーを持つマレーシア出身の在日ムスリムのインフルエンサーを招請し、東北のゲートウェイである仙台市を取材していただきました。ムスリムフレンドリーなレストランや、仙台駅からほど近い朝市、JRフルーツパークなどを訪れ、単なる通過点に留まらない仙台の魅力を感じていただきました。

ムスリム層は旅行先決定の際にSNSなどによる現地情報を重要視しており、今回の取材による情報発信は仙台の魅力を強く印象付ける効果があったと考えています。また、今回の招請を通じて、お祈りの時間や聖地であるメッカの方角、コーランの内容は専用のアプリを利用して確認しており旅行先でも不便がないことなど、ムスリム層に関わる最新の情報を得ることができました。



【仙台朝市】



【レストランでの様子】



【JRフルーツパーク仙台あらはま】

SNSで東北の観光スポットやキャンペーン情報を紹介しています

東観推では、コロナ禍における興味喚起とコロナ収束後の誘客に向け、SNSを活用し、日本国内および海外に対して、東北の観光情報等を発信しています。

東北・新潟も本格的な冬を迎えた12月は、SENDAI光のページェント（宮城県）弘前城雪燈籠まつり（青森県）のイベント情報を発信したほか、アクティビティとして、妙高スノーリゾート（新潟県）、夏油高原スノーリゾート（岩手県）、蔵王温泉スキー場（山形県）、桧原湖ワカサギ釣り（福島県）を発信しております。また、蔵王の樹氷（山形県）、奥入瀬の氷瀑（青森県）といった、冬ならではの絶景も紹介しました。引続き東北観光の魅力発信に取り組んでいきますので、是非フォロー等よろしくお願い致します！

	【Facebook（Tohoku Tourism）英語版】 https://www.facebook.com/TohokuTourism/?ref=page_internal	
	【Facebook（Tohoku for Muslims）ムスリム版】 https://www.facebook.com/EnjoyTohokuFood/posts/	
	【Facebook（旅東北 東北観光推進機構）日本語版】 https://www.facebook.com/tohokukanko	
	【Instagram（tohokutourism）英語版】 https://www.instagram.com/tohokutourism/?hl=ja	
	【Instagram（【公式】東北観光推進機構）日本語版】 https://www.instagram.com/tohokutourism_jp/	



Tohoku Tourismさんはげとう高層スキー場 / Geto Kogen ...
 Resortにいます。
 作庭地: マイクル マーティン ● 12月13日 17:26 前手県 北上市
 【Adventures in Tohoku! Geto Kogen Ski Resort, Iwate Prefecture】
 Looking for solid adventure where you can enjoy skiing and boarding
 on your own terms? Geto Kogen Ski Resort is a full-fledged ski area
 with hot springs as well, but what sets it apart is its several off-piste
 (backcountry/alpine skiing) tree runs that let you experience nature at
 its finest. With up to 4 meters (13+ feet) of snow each year, you can be
 assured that conditions will be great when you go.
 So when... もっと見る
 翻訳を見る



東北域内DMO会議を開催しました（12月16日）

東北域内の地域DMO・地域連携DMOが一堂に会し、同じ戦略の下での連携を図ることを目的とした「東北域内DMO会議」をリアル、オンラインのハイブリッド方式で開催しました。リアル参加が23名、オンライン参加が26名の計49名と多くの方にご参加いただきました。

会議では、東観推から2022年度事業方針説明、東北運輸局およびJNTOから情報共有の他、DMOの好事例共有として、世界遺産平泉・一関DMOの立尾部長から物販事業やイベント運営についての取組を紹介いただきました。また、各DMOの方から様々な意見、質問もあり、活発な議論の場となりました。コロナ禍でなかなか対面開催ができない中で、直接意見交換できる良い機会だったという声も多くいただき、意義のある会議となりました。



【東北域内DMO会議の様子】

台湾の旅行会社に向けてオンライン東北交流セミナーを開催しました（12月22日）

エバー航空のキーエージェントである台湾の旅行会社7社7名に向けて「オンライン交流セミナー」を実施しました。

各県および仙台市によるオンラインツアーでは、各県市の観光施設と台湾をライブ配信で繋ぎ、その中で観光情報を発信するなど、工夫を凝らした配信を行い、台湾側からも好評をいただきました。

また、今回の台湾側参加者が東北に精通している旅行会社であったことから、東観推からの説明にあたっては東北の現在の状況や最新の観光情報といった直近の内容に絞って行いました。短い時間の中で台湾側が必要としている情報を的確に発信でき、こちらも好評でした。

今年度はこの後も複数回のセミナーを計画していますが、これら一連のセミナー事業を実施するにあたって手懸えのあった第一歩となりました。



【台湾側の出席者の様子】



【ライブ配信の様子】



【東観推による観光セミナー】

東北教育旅行商談会（東京会場）を開催しました（12月9日）

東京にて、東北教育旅行商談会を開催しました。今回は首都圏の旅行会社向けに、東北の教育旅行関係施設との商談会の他に、東観推から「だからこそ東北で学ぶ教育旅行」と題し東北新潟各県の教育旅行プログラムや学習メニュー等紹介や、また雪だるま財団（越後田舎体験推進協議会）より東北新潟の探究学習の事例紹介をしました。当日の参加者からは「リモートでなくリアルの開催で教育旅行のトレンド等も直接伺うことができ、大変実りある商談ができた」、「東北新潟の教育旅行の新しい情報を入手できた」等の声をいただきました。今後も東北への誘客に向けて取組んでまいります。



【主催者挨拶】



【商談会の様子】



東北教育旅行セミナー（大阪会場）を開催しました（12月15日）

大阪にて、東北教育旅行セミナーを開催しました。第1部では「だからこそ東北で学ぶ」「探究学習・SDGs」を共通テーマにした東北6県と東観推によるプレゼンテーションのほか、気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館語り部の方からの特別講演を実施しました。第2部では関西圏の学校関係者と東北の行政・観光団体との個別相談会、また旅行会社と東北側の受入事業者との商談会を実施しました。

東観推からは、①「東北まなび旅」HP、②モデルコースや班別研修例、③コロナ対策等について紹介しました。参加した方々からは「東北の教育旅行がまとまっていて分かりやすかった」、「実際に直ぐに活用できるツールが用意されており非常に便利である」等の声をいただきました。

久々のリアル開催ということもあり合計117名と多くの方に参加いただき、「活発な意見交換がしやすい」「人とのつながりが出来て良い」等のお話も頂戴しました。東北にとって重点市場である関西に対して、東北への教育旅行誘客に向けて取組んでまいります。



【セミナーの様子】



【商談会の様子】

関東地区公立中学校修学旅行委員会の現地研修会を実施しました（12月3日～5日）

全国修学旅行研究協会と連携し、岩手・秋田両県において、東北地区への教育旅行誘致を目的とした関東地区公立中学校修学旅行委員会招請事業を実施しました。

コロナの影響で当初8月としていた予定を延期しての実施となりましたが、ご参加の先生方には、SDGsや探究学習をテーマとするコンテンツや伝統体験施設の見学、また先生方と修学旅行受入業者との情報交換を実施するなど、東北における修学旅行等の実施方法について研修していただきました。

先生方には各教育旅行コンテンツが好評で、更なる改善に向けたご助言いただいたり、東北での教育旅行実施へのイメージをもていただくことができました。

依然コロナ禍により修学旅行も大きく影響を受けておりますが、今回お呼びした中学校の来年度又は再来年度の教育旅行実施に向けて、今後とも地域と連携し、教育旅行実施へ向け誘致活動を行ってまいります。



【震災学習列車体験の様子】



【秋田県セミナー会場の様子】

第六期フェニックス塾 第5回塾を開催しました（12月10日）

今年度第5回目となる「フェニックス塾」を青森市観光物産館アスパムで開催し30名の塾生が参加しました。

【第一部】 セミナー

テーマ：「持続可能な観光地域づくり～観光の目指す姿や世界の潮流など～」

講師：国土交通省 東北運輸局 前局長 亀山秀一様

【第二部】 ワークショップ

第一部セミナーでは亀山様より、新型コロナによる観光トレンドの変化や、観光とSDGsの関わり、地域観光の方向性についてお話しいただきました。

第二部のワークショップでは「ウィズコロナ・ポストコロナを見据え、東北（TOHOKU）が国内外から選ばれる観光地になるには」をテーマに、課題への対応策の検討を行い、活発な意見が交わされました。



【ワークショップの様子】

「旅東北NEWS」VOL.040 2022年1月17日発行

【発行】一般社団法人東北観光推進機構

仙台市青葉区一番町2-2-13仙建ビル8階

【TEL】022-721-1291【FAX】022-721-1293

【Email】info-ttpo@tohokutourism.jp

「東北観光推進機構」公式Facebook

東北6県・新潟県の旬の観光情報を配信中！

<https://www.facebook.com/tohokukanko/>

「いいね」「シェア」をよろしくお願いします！